

皇の星への想い



そこにいる私たちは、
その素晴らしい世界が、
“まるで、昔から、そうだった、ずっと知っていた”
かのように、

過去のいろいろのことは「学び」として、
アカシックに刻み終えています。

そこにあるのはただ
溢れる「愛」のみ。

美しい世界です。

鳥が歌い、

動物の檻や鎖は解かれ、

人、動物、植物の壁も大きくはありません。

言葉の壁も、人種の違いも

男女の違い、大人や子供といった違いもなく、

老いも若きもなく、

もちろん国境もありません。

憎しみ、恨み、怒りといった感情は、

もうすでに人々の記憶からは消えています。

ただ、笑い、愛し、喜び、リラックスし、穏やかな空気の中

すべてのものが共存しています。

それこそが、「ONENESS」の世界。

すべてが「ひとつ」

「私」と「あなた」いう存在すら、
もうただの器でしかなく、
境界を感じることはありません。

胸から湧きおこる歓喜！

この星を愛している！
みんなを愛している！
すべてを愛している！
この宇宙を愛している！

私はすべて

すべては私

私はイルカになり海をいく

またある時は大空を飛ぶ鶴になる

その瞬間思う

「夢がかなった？」

「いや初めから叶っていた。」

私は、魚であり、鳥であり、野をかける鹿であり、
人である。

その瞬間、意識は空へ！

もっと高く！

一瞬で宇宙へ！

私はある時は星であり、
ある時はこの地球であった。

そして、望むなら、どのような姿にもなりえる。
なぜなら、自らが『愛である』ことを学ぶために

そして、私は創始の星になり、創始の光になる。

母の待つ根源へ！

数百億年という時は
もはや存在しない。

私は水であり、光あり、意識である。

私の意識は、私一人の意識ではない
私の中に、すべてがある。

私が出会い、愛したすべては私の分身であった

私は一つから分かれ、分離し、無数の形をとり、
そして今、また、繋がっていく。

本当の私に戻るために。

愛する偉大な母がいう

「おかえりなさい」

あめのひかり&ハイパー